

01 実施概要

01 実施概要 | 地域おこし協力隊員実施業務

以下業務を隊員にて推進（必要に応じた隊員の募集・採用を実施）。各成果指標の達成を通過点として、地域と協力隊員の特性を踏まえブラッシュアップを繰り返しながら活動を推進していく。

■各隊員の業務概要

関係人口創出・移住定住促進

- 移住・定住推進施策の企画・遂行
- 移住希望者からの相談対応業務
- 移住・定住に伴う各種支援
- 情報発信業務（ポータルサイト・SNS等を活用した情報発信）

空き家問題の解決に取り組む 地域の体制整備と強化

- 移住・定住促進に紐づく空き家活用施策の遂行
- 空き家に関する相談対応・データ整理業務
- 空き家解決を担う体制の構築
- 空き家所有者と利活用者のマッチング
- 情報発信業務

地域資源の発見・開拓・活用による 地域商材の開発と販路開拓

- 地域資源の発掘・商材化業務
- ふるさと納税に係る生産者や事業者の橋渡し業務
- 地域商材開発・販路開拓に紐づく地域事業者支援
- 情報発信業務

必要性等を考慮し、柔軟に業務を遂行

1. 移住・空き家問題推進業務

(1) 移住・定住者獲得推進施策の企画・遂行

田村市、Switch等と共に、田村市における移住・定住者獲得のための施策に取り組む。
※新型コロナウイルス感染症の影響も考慮し、可能な範囲で柔軟に対応。

(2) 移住希望者からの相談対応・移住前後の支援

テラス石森に設置された「田村移住相談室田村サポートセンター」の運営を担い、移住関心者・希望者の窓口として希望者をサポート。移住・定住ポータルサイト「たむら暮らし」を中心とした、電話・メール等問い合わせ対応～現地案内等、要望に応じたマッチング業務を行う。

(3) 関係人口創出、移住・定住に紐づく情報発信

地域プレーヤー、地域資源、活動、施策等の紹介を、移住・定住ポータルサイト「たむら暮らし」・SNSに随時掲載。効果的な時期に合わせた情報発信の他、ツアー、空き家の情報発信も担います。

(4) 空き家相談窓口の運営による移住希望者と所有者のマッチング

「田村空き家の窓口」の運営による以下の実施
● 空き家の情報収集・データ整理・物件情報の発信 ● 希望者マッチング

 **関係人口、移住・定住者の獲得、空き家問題の解決に着手**

2.地域資源のブラッシュアップ・魅力化

(5) 豊かな地域資源を探求し、ふるさと納税に係る生産者や事業者の橋渡し

- 産業部・財政課・Switchが連携した田村市内の地域資源・商材を掘り起こし。
- ふるさと納税を活用した、生産者・事業者の事業活性につなげる。
- 生産者や事業者を地域プレイヤーとした移住メディアの効果的な情報発信。

(6) 地域産品のブラッシュアップや魅力発信

- 地域産品のブラッシュアップ
→必要に応じ有識者を加え、企画・デザイン・ブランディング・販路構築等を実施。
(例)Shift・猪苗代レイクリゾート小田嶋氏等を想定。
- 魅力発信
→移住ポータルサイトやSNS等を活用し、時期や目的を考慮した情報発信を行う。
産品のPR、ふるさと納税活性、田村市ファン・交流人口の獲得を目的とした情報発信とし、
産業部・財政課との連携にて実施。

(7) 上記に掲げるもののほか、移住・定住促進及び地域振興につながる活動

- 事業を実施する上で必要・効果的と判断される事柄については随時実施。
→業務を遂行する中で生まれる繋がりや事柄等を、事業推進へ活かす。
- 先進的な取り組みの研修・連携。

➡ 田村市産品の強化・創出、ふるさと納税活性化、田村市ファン創出に着手

02 隊員詳細

02 隊員紹介／地域振興型

地域おこし協力隊 活動継続6名 | 任期終了1名 | 退社1名 ※2024年3月31日時点

継続



中山 真波

着任／2020年5月18日～
前住所／東京都荒川区
主担当／地域商材の開発と販路
開拓

継続



佐久間 朱妙

着任／2021年7月5日～
前住所／東京都港区
主担当／空き家対策

継続



佐々木 馨

着任／2022年4月1日～
前住所／宮城県仙台市
主担当／空き家対策
・コミュニティ形成

継続



岡寄 大治郎

着任／2022年4月1日～
前住所／神奈川県相模原市
主担当／関係人口創出・
移住定住促進・林業人材確保

継続



熊谷 優希

着任／2022年8月25日～
着任前住所／東京都港区
主担当／関係人口創出
・移住定住促進

新任



伊藤 大介

着任／2023年3月1日～
着任前住所／神奈川県川崎市
主担当／関係人口創出
・移住定住促進

2023年6月任期満了



菅野 千恵子

着任／2020年7月1日～
着任前住所／神奈川県川崎市
主担当／関係人口創出
・コミュニティ形成

2024年1月退任



石井 真理枝

着任／2022年10月3日～
着任前住所／福岡県博多区
主担当／関係人口創出
・移住定住促進

地域おこし協力隊 | 活動継続3

※2024年3月31日時点

継続



宮之原 尚子

着任／2023年3月1日～
着任前住所／東京都品川区
起業内容／語学・飲食事業

継続



橋本 剛

着任／2023年4月20日～
着任前住所／埼玉県川口市
起業内容／キャンプ場

継続



本田 進之介

着任／2024年1月9日～
着任前住所／神奈川県横浜市
起業内容／サウナ・温浴施設

03 隊員の活動状況

- ①地域振興型：地域商材の開発と販路開拓
中山 真波

(1) 農産物活用の加工品（ジャム）開発・販売

●「ブルーベリージャム」の企画・実施

船引町長外路地区のブルーベリーを活用した地域産品の開発に着手

- 生産地：船引町長外路
- 企画詳細：船引町長外路地区のブルーベリーを活用
 - ↳大粒ブルーベリーの食感が感じられるジャム

- 加工：市内事業者へ委託

- 販売先：首都圏イベントにて販売

【今後の展開】

- ・ふるさと納税返礼品への起用
- ・地域内外での対面販売 等



●「ナツハゼジャム」の企画・実施

船引町長外路地区のナツハゼを活用した地域産品の開発に着手

- 生産地：船引町長外路
- 企画詳細：船引町長外路地区のナツハゼを活用
 - ↳ナツハゼの食感が感じられるジャム

- ・セット品として、木工加工者とコラボ。ジャムスプーン付き
 - ↳間伐材で森の再生、環境改善として、ひとつひとつ手作業にて、斧やナイフを活用したGreenwood workの作品

- ジャム加工：市内事業者へ委託

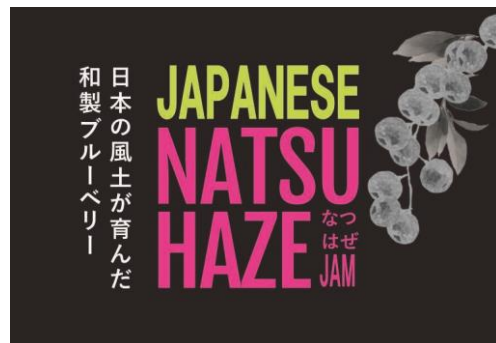
- 販売先：ふるさと納税登録、出店販売

【今後の展開】

- ・地域内外での対面販売等

【課題点】

- ・生産能力の高止まり
- ▶担い手不足による、生産能力に限度があることから、販路拡大へつながらない。



(2) 6次化商品に向けた取り組みを実施

●耕作放棄地を活用

船引地域の耕作放棄地を活用した、農地活用・6次化商品開発・販売を実施。

- 企画詳細：・市内の学生受け入れと定植作業
・農場管理と収穫
・イベントにて加工と販売を実施

■効果：

- ・生産・加工・販売を一括管理したことで、来年度の施策にもつなげられる成果を得られた
- ・ポップコーンが出来上がる過程を間近で見られる光景も、住民の方やお子様たちにも喜んでいただけた



生産 → 収穫 → 加工 → 販売

●国家戦略プロフェッショナル検定「食の6次化プロデューサー」認定取得(2023年5月)

生産（1次産業）、加工（2次産業）、流通・販売・サービス（3次産業）の一体化や連携により、地域の農林水産物を活用した加工品の開発、消費者への直接販売、レストランの展開など、食分野で新たなビジネスを創出するプロデューサーとしての知識を取得。

(3) 廃校を活用した養蜂

●地域住民と協力し、持続可能な養蜂事業を展開

石森地域の地域の方々の養蜂活性・事業化をサポート

- 企画詳細：巣箱を設置して3年目。養蜂活動から得られた蜂蜜を収穫
- 効果：地域ブランドのはちみつ製品を生産

【今後の可能性と展開】

廃校を活用して地域資源を最大限に活かし、地域経済の活性化と環境保全に貢献します。また、地域住民や地域産業との協力を通じて、持続可能な発展に向けた基盤を築く。今後は、他の地域でも同様の取り組みが展開予定。



（４）遊休農地を活用した、畑から繋がるコミュニティづくりを実施

●遊休農地活用による、農ある暮らしを提案

■企画・活用：

- ・じゃがいも植付け・夏野菜定植体験
- ・収穫体験
- ・サマーボランティア受入れ
- ・移住者交流会／農業体験

■効果：

- ・栽培野菜を活用した料理教室や提供
- ・遊休農地活用
- ・畑を通じた学びの場とコミュニティ形成の創出
- ・農ある暮らしの提案や就農等の興味関心者への体験の機会の場の創出



（５）食からつながるコミュニティ創出

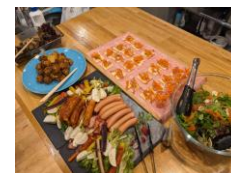
●田村市産農産物を活用した料理提供と交流会の実施

■企画詳細：

- ・自然体験を通じた、野外料理教室(団子・米粉バームクーヘン等)
 - ↳ もりのび
- ・体験事業や移住者交流会等の料理提供
 - ↳ 田舎体験事業、農業体験事業
- ・首都圏イベント(食を囲んだ交流会の料理提供)
 - ↳ タムラナイト

■効果：

- ・子ども達をターゲットにした食育事業の創出
- ・田村市の農産物の周知と食せる機会の創出



03 隊員の活動状況

②地域振興型：関係人口創出・移住定住促進
熊谷 優希

(1) 現地体験ツアーとオンラインイベントを通じた関係人口構築業務

「加速化交付金事業」における関係人口の創出や地方への関心層の掘り起こしを目的とした、現地体験ツアー・オンラインイベントの企画・運営を行った。イベントを通じて参加者同士のつながり作り、関係人口構築を促進した。

現地体験ツアー 全4回開催

田村市民との交流を通して、田村市の魅力を感じてもらい、移住を検討してもらうためのツアーを企画・実施。開催までの告知・広告配信や関係各所の調整、当日の運営を行った。

●たむら移住体験シリーズ 親子で楽しむ夏の田舎暮らし
地方移住を検討している家族向けに、田村市の生活や子育てについて理解を深めてもらう体験ツアーを企画・運営。田村市の地域性や生活環境について理解を深めてもらえた。

●たむら移住体験シリーズ 親子で楽しむ秋の田舎暮らし
夏と同様に、地方移住を検討している家族向けに、田村市の生活や子育てについて理解を深めてもらう体験ツアーを企画・運営。稲刈りや星空観察などを通して、田村市の自然の豊かさを感じてもらえた。

●秋の田舎&自然体験ツアー

都路町民と一緒に考えた、都路町の魅力を発信するための自然体験ツアーを運営。自然の豊かさ、食材の美味しさ、地域住民の雰囲気を感じてもらい、満足度の高いツアーとなった。

●移住相談員と決める！お試し移住ツアー

地方移住を検討している首都圏在住の方に向け、田村市の生活環境、仕事や住宅事情について理解を深めてもらうツアーを企画・運営。生活費用や仕事事情の説明、空き家物件見学といった、より移住検討度の高い人向けのコンテンツを盛り込んだ内容であり、また冬季開催ということもあり、通常より反応が鈍く集客が難しい状況だった。

オンラインイベント 全3回開催

●プロに聞く！福島の田舎暮らしとお金の話

移住前後やライフプランに合わせたコストを地元のフィナンシャルプランナーと一緒に考え、移住や田舎暮らしへの理解を深めて具体的な準備を進めてもらえるようにするオンラインイベントを企画・実施。開催までの告知・広告配信や資料作成、当日の司会進行を行った。

●タムラナイト -田村市の食と農-

オンラインと首都圏食イベントを組み合わせ、首都圏の移住検討者層・関心層とのつながり・交流を持つことで、田村市に興味を持ってもらうと同時に相談先を認知してもらうことを目的としたイベントを企画・実施。

●初心者のための民泊セミナー

田村市内で民泊を営む事業者をゲストに迎え、民泊を始めるポイントや実情などトークしてもらうことで、田村市民の民泊に対する関心度を高め、民泊制度の理解を深めてもらうことを目的としたオンライン&現地イベントを企画・実施。



(2) 現地交流イベントを通じた移住定住者サポート業務

移住者が気軽に相談したり、地域住民と交流する機会や場所が少ないことから、移住者を含めた市民同士が交流できるイベントを企画・運営。参加者同士の親睦を深めるものづくり体験や田村市の歴史・文化を学ぶプログラムなどを組み込んだイベントを実施し、概ね好評だった。

イベント①：移住者交流会～たむらの果実シロップ&かき氷づくり～
開催日：令和5年8月11日（金） 9:30～12:00

イベント②：干支人形作りワークショップ&交流会
開催日：令和5年12月16日（土） 10:00～15:00

イベント③：お守り・絵馬づくりワークショップ&移住者交流会
開催日：令和6年1月6日（土） 10:30～14:30



(3) 首都圏での移住検討者向けイベント対応業務

地方移住関心者・検討者に対し、田村市の認知度向上と個別相談機会提供を目的として外部イベントに出展。相談員として、田村市の生活環境や支援制度などの説明といった来場者対応を行った。ブース来訪者が、お試し移住を経て移住に至るケースもあった。

イベント①：東北移住&つながり大相談会 2023
開催日：令和5年7月23日（日） 11:00～16:30

イベント②：福島くらし&しごとフェア
開催日：令和5年10月1日（日） 11:00～17:00

イベント③：JOIN移住・交流&地域おこしフェア2024
開催日：令和6年1月13日（土）～14日（日） 10:00～17:00



(4) イシモリフェスの企画・実施

田村市の大人も子どもも関係なく好きなことを学べる・体験できるような、地域の交流・学びの場づくりを目的としたフェスを企画・運営。

市内外の出店者が参加し、様々な出会いが楽しめるイベントとなった。

田村市内だけでなく県内各地から参加者が訪れ、出店者から次回開催希望の声もあり好評だった。

しかし、告知方法や運営部分などで課題が見られた。

【概要】

- 開催日：令和5年11月11日(土)～12日(日)
- 来場者数：(1日目) 318名、(2日目) 219名 計537名
- 場所：テラス石森
- 告知方法：チラシ配布、Facebook・Instagram広告、テラス石森・SwitchのWEB・SNS



(5) 読書会(ホンノムシ)の実施

田村市民同士の交流の場を創出するために、月1回読書会を開催。

今年度は市内の学童クラブや預かり保育所で、子供向けの読書会も定期的に実施。

(4) のイシモリフェスにもブックスタンド作りワークショップの出店をした。

来年度も定期的に開催し、内容も季節や要望に合わせて変更予定。

【概要】

- 開催日：毎月第2金曜日または土曜日
- 参加人数：5名程度
- 参加費：無料
- 場所：テラス石森 コワーキングスペース
- 告知方法：チラシ配布、あぶくま大学Facebook・LINE、外部掲示板



（6）市内の中学校での交流イベントに参加

地域おこし協力隊の仕事の内容ややりがい、人柄や生き方等を知ること、児童生徒に自己の生き方を振り返らせるとともに、広い視野を持って生きていくことの大切さに気づかせ、目的を持って生きていこうとする態度を養うためのイベントに参加。自身の経歴や活動などを話した後に、生徒達の質問に回答しながら交流を深めた。色々な人の考え方や生き方、想いに子どもたちが触れられるような機会をつくることの重要性を感じた。

イベント①

- 開催日：令和5年7月25日(火) 13:40～15:30
- 場所：滝根中学校

イベント②

- 開催日：令和6年2月9日(金) 10:30～12:20
- 場所：船引南中学校



（7）地域限定旅行業の登録と事業開始準備

田村市を含めた隣接地域の魅力をツアー・イベントという形で発信するために、地域限定旅行業登録と事業開始に向けた準備を行った。
年度初めに地域限定旅行業の登録が完了し、事業開始のための書類や掲示物などの準備、WEB整備を行った。
来年度は募集型・受注型企画旅行の企画・販売を目標とする。

【概要】

- 地域限定旅行業登録準備：令和5年4月～
- 地域限定旅行業登録：令和5年6月9日
- 事業開始準備（書類、サイト、標識等の作成）：令和5年7月～令和6年2月
- 地元着地型の旅行の企画：令和6年3月～

スイッチ🔄トラベル

福島らしい体験と思い出を。

03 隊員の活動状況

②地域振興型：関係人口創出・移住定住促進
岡寄 大治郎

(1) 市内林業事業体との関係性構築

移住希望者の林業就業の円滑化と木工所の事例発掘を目的に、田村市内の林業事業体・木工所との関係構築を推進。求人情報のヒアリングや事業の説明等を行い、オンラインイベントやツアーのゲスト等、事業に関する理解と協力を得ることができた。

【関係構築をした林業事業体・木工所】

- ・田村森林組合
- ・ふくしま中央森林組合 都路事業所
- ・フォレストクリエイティブ合同会社
- ・よしだ森林サービス
- ・きこり工作室
- ・合同会社 森の人
- ・株式会社 三浦農林
- ・有限会社 吉田木工所



(2) 個別・現地ツアーでのアテンド実施

移住・林業就業検討者を対象に林業事業体との関係構築のサポート、田村市内の案内を実施。個別対応では見学、現地ツアーでは各所との調整、当日のアテンド等を行った。

【体験ツアー概要】

- 開催日：9月16日(土)～18日(月)、11月23日(木)～25日(日)、12月16日(土)～17日(日)
- 参加者：合計14名
- 内容：田村・ふくしま中央森林組合見学、チェーンソー体験、重機体験、薪割り体験 等



【アテンド・サポート内容】

- 市内アテンドプランの作成、同行
- 受け入れ先との調整
- 市内林業事業体の紹介
- 市内案内 等

現地ツアーアテンド：計14名
個別アテンド件数：4件

(3) オンラインイベントを通じた林業就業検討者・関係人口の構築業務

主に加速化林業事業のオンラインイベントの企画・運営を担当。イベント当日は、司会進行の役割を担い参加者との接点を創出。イベント後も定期的なコンタクト、ヒアリング等を行い、相談しやすい体制をつくった。

●オンラインイベント 全12回開催

月日	形式	イベント名	申込者数	参加者数	参加率	備考
7/6	オンライン	福島県田村市のきこりが語る。 林業の楽しさと仕事の話	19	12	63.2%	
7/20	オンライン	福島県田村市のきこりが語る。 林業の始め方と必要なスキル	30	13	43.3%	
10/19	オンライン	田村市の林業の「イマ」と「コレカラ」	20	7	35.0%	
11/2	オンライン	いまさら聞けない、林業ってどんな 仕事？-自然災害や環境問題から林業 を考える-	28	12	42.9%	
11/28	オンライン	木を生かす。木と向き合う職人の話	43	23	53.5%	
12/14	オンライン	林業に興味ある方必見！きこりの第 一歩目を知ろう！	20	6	30.0%	
12/20	オンライン	9月林業体験ツアー同窓会	4	2	50.0%	
1/13	オンライン	11月林業体験ツアー同窓会	5	3	60.0%	
1/19	オンライン	林業も！農業も！狩猟も！自然と向 き合い生活する里山ぐらしのお話	59	20	33.9%	
2/16	オンライン	林業やってみてどうでした？移住し て林業をはじめた先輩の話	30	11	36.7%	
2/22	オンライン	福島県田村市のきこりが語る。「林 業の技術的な話」	69	25	36.2%	
3/1	オンライン	12月アイデアソンツアー同窓会	4			

(2月26日現在)



→関係人口148人（延べ）の創出を実現。
活用可能なメーリングリスト25件を獲得。

(4) 首都圏イベントへの就林・移住相談窓口設置

首都圏在住の地方移住検討者に対し田村市の林業の認知やオンラインイベント等のご案内を行い、田村市に足を運ぶきっかけを提供するために、首都圏での移住に関するイベントで移住相談窓口を設置しその運営、当日受付を担当。

田村市内の移住に関する情報や就林・林業事情等をお話し、田村市の林業の関係人口創出を行った。

【実施イベント】

- ・ テーマから探す！移住フェア 8月6日開催
- ・ KITCHENCAR PARK-ABUKUMA うんめえFES in 中野 12月3日開催

【実績数】

相談者数：16組（22名）



(5) ものづくりを拠点としたワークショップ、商品・サービスの実施

ものづくりを基点としたコミュニティの形成と企業や個人（マルシェ出店用）の看板等を作成した。
ワークショップでの満足度は高く、ワークショップの実施を通して企業や個人から看板作成の依頼があり、好循環が生まれた。
今後はワークショップではなく商品・サービスを主に展開していきたいと考えている。

【実施ワークショップ】

- 夏野菜収穫体験×バードコール作り（あぶくま大学の取り組み）
日時：8月11日(金)
場所：テラス石森
内容：バードコール作りの体験
参加者数：2名
- 初めての3Dプリンター講座（株式会社マニソニアムズとの合同開催）
日時：8月13日(日)
場所：テラス石森
内容：小～中学生向けに3Dプリンターの認知を広げることを目的に3Dプリンターの概要や使用方法を教える講座
参加者数：5名
- レーザーカッター体験
日時：11月11日(土)～12日(日)
場所：テラス石森
内容：レーザーカッターを使用したキーホルダー等の制作体験
参加者数：25名
- レーザーカッター体験（もりのびとの合同開催）
日時：12月9日(土)
場所：テラス石森
内容：レーザーカッターを使用したキーホルダー等の制作体験
参加者数：16名

【制作物例】

- 株式会社三浦農林の看板 他10件



03 隊員の活動状況

②地域振興型：関係人口創出・移住定住促進
伊藤 大介

（1）田村市・移住施策の理解・移住事業サポート

田村市の魅力と移住施策、国、県、市から提供される多彩な支援や機会、情報の理解を深めた。これを基に、移住に必要な手続きやサポート体制についても詳しく理解し、具体的な情報提供と個別の相談サポートを実施した。

03 隊員の活動状況

③地域振興型：空き家対策/コミュニティ形成
佐久間 朱妙

(1) 空き家相談窓口の運営

田村地域における、空き家は現在増加傾向となっており、所有者と活用希望者からの問い合わせも年々増加している。住まい探しにおける空き家の活用は、移住の条件に直結するため、他事業との連携を図りながら相談窓口の拡充・運営を行っている。

●空き家相談窓口の運営

個別相談受付 平日10:00~17:00 (土日祝を除く)
対面相談(テラス石森)、オンライン相談可能

●令和5年度相談件数: 累計140件(令和3年度比: +47件)

【内訳】所有者相談: 78件(売却60件、賃貸10件、解体5件、その他3件)
利活用希望: 62件(購入35件、賃貸27件)



(2) 空き家の情報収集・データ整理・物件情報の発信

昨年度に引き続き、田村市の空き家バンクに加え、YADOKARI社提供『空き家ゲートウェイ』を活用し、空き家の掘起しと登録促進を実施。



●令和5年度空き家空き地情報バンク登録件数: 14件

空き家バンク登録の説明、現地調査、報告書の作成の一連の業務を担う。

●YADOKARI社提供『空き家ゲートウェイ』登録件数: 3件

●所有者向けセミナーの開催(令和6年2月11日)

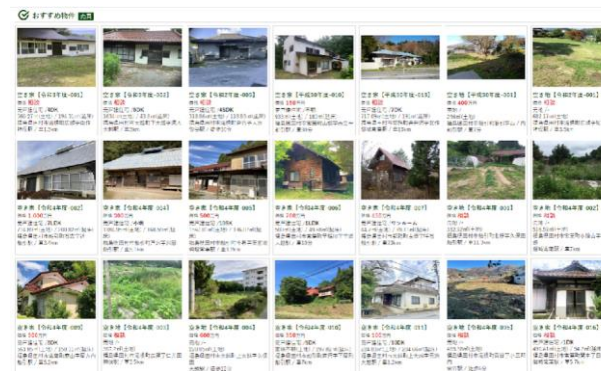
参加者: 29名

(田村会場: 9名/東京会場: 5名/オンライン: 15名)

相談会: 24組中3組 (田村会場: 1組/東京会場: 2組)

●利活用者向けセミナーの開催(令和5年7月27日)

参加者: 8名



(3) メディア掲載・情報発信業務

昨年度より継続しているYADOKARI社提供『空き家ゲートウェイ』、チャレンジショップ、トレーラーハウスについて情報を発信し、周知活動を実施。

●空き家ゲートウェイ

所有者へのチラシ郵送（令和5年12月発送）

●チャレンジショップ/地元新聞社によるWEB掲載

福島民報（6月26日、7月2日）

●チャレンジショップ/Instagram

発信回数：37回/ページフォロワー数：230（令和5年7月1日運用開始）

●チャレンジショップ、トレーラーハウス/WEBサイトの作成と公開



船引の市街地に賃料0円チャレンジショップ 起業や店舗開店を後押し
福島県田村市



チャレンジショップ「ふらっと」の利用を呼びかける啓蒙さん（左）らスタッフ

2023年06月26日 09時00分 福島民報

福島県田村市は市内船引町の中心市街地にあるショッピングセンター「ふねひきパーク」に賃料0円のチャレンジショップ「ふらっと」を設ける。移住定住促進策の一つで、起業や店舗開店を目指す人に貸し出し、夢の実...



mocca

休憩しよう。
山のよでの、
田舎暮らし

(4) 希望者マッチング

利活用意向がある空き家の所有者と利活用者との仲介役として、見学日程の調整や当日のアテンドサポート等を行い、空き家問題解決につなげる。

●空き家所有者へのアプローチ

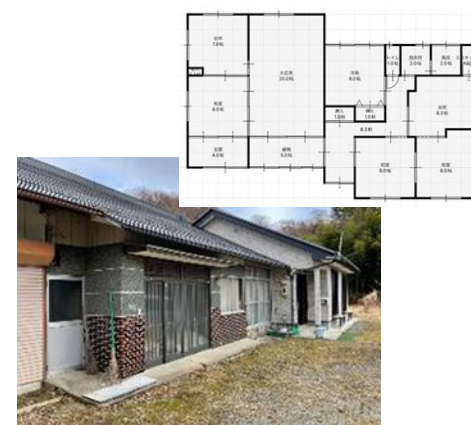
- ・空き家の情報収集
- ・報告書、簡易図面の作成
- ・見学日時のご相談

●利活用希望者へのアプローチ

- ・ヒアリングと物件情報の提供

●令和5年度成約件数：累計11件（前年度比：+4件）

- ・移住者/7組（計16名）
（家族構成/世帯：4、単身者：3）



（５）個別対応／マッチング前後の継続的サポート

所有者の要望をヒアリングし、意向に沿った対応を実施。
移住定住の担当者と情報共有を行い、利活用者の一人一人に合わせた丁寧な対応を実施。

●空き家所有者へのサポート

- ・利活用者からの問い合わせ・要望についての相談、調整
- ・不安事の解消

●利活用者へのサポート

- ・悩みや不安の解消
- ・契約前後の手続き
- ・移住に向けた準備
- ・補助金のご案内や提案、補助金担当者との連絡調整



（６）空き店舗活用に向けた取組（チャレンジショップの開設と運営業務）

市内での新たな事業展開や事業創出、既存事業の展開に向けた拠点として「お試しチャレンジショップふらっと」を開設した。
イベント開催や出店者の受入と出店サポートを実施。

●イベントの開催

- ・趣味や好きなことでの初めての出店やビジネススタートのきっかけづくり
- ・参加者との関係構築と継続的な関係維持

●出店者へのサポート

- ・チラシ制作やSNSによる出店告知
- ・不安や悩みの解消、出店や活動の全般サポート

●店舗との協力・連携

- ・(株)清水商店、周辺店舗への連絡調整
- ・出店情報の報告・連絡・相談



(7) 市内の中学校を対象とした交流イベントに参加

地域おこし協力隊であり、地元の先輩として若い世代との交流を通して、田村市への理解を深め、社会性を養い自身の人生の糧となる時間を創出することを心掛けた。

●次世代移住定住会議「移住者交流会のイベント内容を企画するワークショップ」

- ・目的：市内の若い世代の流出を抑制するため、中学生が田村市に住み続けたい、戻ってきたいと思ってもらうこと
- ・開催日：令和5年7月22日(土) 13:30～15:45
- ・場所：テレワークセンターテラス石森



●出張授業

- ・目的：3年生の進学を機に、自分や地域を見つめ直し、将来的に前向きに田村市に戻ってくる気持ちになれるきっかけづくり
- ・開催日：令和6年2月9日(金) 10:30～12:20
- ・場所：船引南中学校



(8) 地域コミュニティへの参加と自己研磨

様々な受講や資格取得を通して自己研磨を行った。資格や知識を活かし、イベントやチャレンジショップでの出店等を実施し、地域コミュニティへの参加や地域住民へ有益な情報を届けるよう取組を行った。

内容	時期	詳細
和ハーブインストラクター資格取得	令和5年7月	一般社団法人和ハーブ協会による、「日本の有用植物文化の継承と創生」を目的とし、和ハーブの幅広い基本知識を身につけ人々へ伝える ・2023年11月11日イシモリフェス出店 ・2023年12月14日(木)、21日(木)チャレンジショップ(土)出店
田村市文化協会船引支部文化団体 たむら太極拳清風 所属	令和4年12月～	・10月1日(日)開催「田村市秋の芸能祭り」出演（会場：田村市文化センター） ・太極拳4級試験合格（10月20日付） ・10月28日(土)開催「第30回平安神宮奉納太極拳演武」出演（会場：平安神宮）
隣隣サポーター養成講座 修了 (田村市社会福祉協議会)	令和5年12月	住民が主体となり、地域支援活動の担い手を育成し、住民ボランティアが仲間と一緒に活動をしていくための講座
田村市産業人材育成塾 受講 (田村市役所 産業部 商工課)	令和5年9月～ 令和6年2月	田村市の産業・なりわいを再生・創出し、地域の未来を切り拓いていく地域を牽引するリーダーとなる人材を育成する目的



03 隊員の活動状況

③地域振興型：空き家対策/コミュニティ形成
佐々木 馨

(1) 空き家の情報収集業務

田村地域における空き家の掘り起こしを目的としたイベントの企画・運営を担う。

●田村市空き家活用セミナー（相続編）の開催

令和6年2月10日(土)13:00~14:30

田村会場/田村サポートセンター

東京会場/田村市・東京リクルートセンター

オンライン/Zoom ウェビナー形式

講師：司法書士法人あおい法務事務所代表 小池 あおい 氏

参加者：29名（田村会場：9名／東京会場：5名／オンライン：15名）

相談会：現地参加14名中3名が参加（田村会場：1名／東京会場：2名）



(2) 空き家所有者と利活用希望者の相談対応業務

空き家所有者と利活用希望者双方の相談対応及びマッチングサポートの実施。

●令和5年度相談対応件数：累計62件

【内訳】所有者相談：17件(売却15件、賃貸2件)

利活用希望：45件(購入36件、賃貸9件)

●空き家空き地情報バンク登録件数:5件

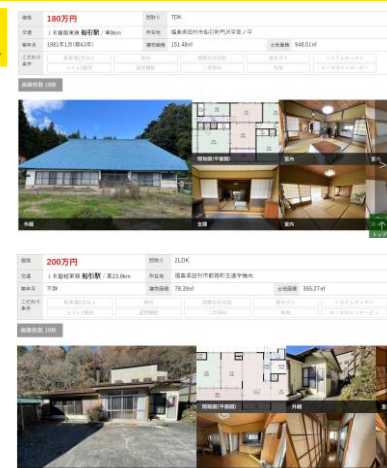
空き家バンク登録の説明、現地調査、報告書作成の一連の業務を担う。

●空き家ゲートウェイ登録件数:3件

登録手続きの説明、現地調査、報告書作成、YADOKARI社との連絡調整を担う。

●利活用希望者の現地アテンド対応：累計16件

●成約件数：累計1件



(3) 地域コミュニティの形成を目的とするイベント開催

田村地域の子育て世代を対象とする親子参加型の自然体験イベントの企画・運営。

●自然体験イベント「もりのび」の企画・運営

- ・イベント実施回数：全18回
- 実施場所：スカイパレス「時の輪」下、農家民宿みちくさ「遊びの森」等
- ・放課後児童クラブ出張イベント：全11回
- 実施場所：田村市内の放課後児童クラブ実施場所
- ・両イベント延べ参加者数（子どものみ）：602名

●第5回「こおりやまSDGsアワード」受賞

- ・表彰式：令和6年1月20日(土) ビッグパレットふくしま多目的ホール
- ・体験を通じて自然を自然に学ぶ機会と、普段接する機会の少ない人同士の交流を創り出し、山の再生、自然体験、地域に伝えられてきた知恵や文化の継承などを通して地域の持続的な発展に大きく寄与するものと認められたため。



(4) 中学生を対象とした地域への愛着醸成を目指すワークショップ開催

田村市が住みたいまち、戻ってきたいまちになることを目指し、市内中学生に意見を募るワークショップの企画・運営。

●次世代移住定住会議

「第1回」

- ・日時：令和5年7月22日(土)13：30～15：45
- ・会場：テレワークセンターテラス石森 コワーキングスペース
- ・参加者数：14名

「第2回」(「令和5年度移住者交流会」と同時開催)

- ・日時：令和5年10月7日(土)14：00～16：15
- ・会場：テレワークセンターテラス石森 コワーキングスペース
- ・参加者数：14名

「第3回」(「お守り・絵馬づくりワークショップ&移住者交流会」と同時開催)

- ・日時：令和6年1月6日(土)10：30～14：30
- ・会場：和風ダイニング加賀、旧大越娛樂場
- ・参加者数：16名



(5) 市内中学校・高校での出前授業を実施

市内中学校・高校に招かれ、生徒たちが将来を考える機会に、移住者として、また、地域おこし協力隊として参加。生徒たちとコミュニケーションを取った。

●自分の未来、地域の未来を考える会 滝根中学校

日時：令和5年7月25日(火)5・6校時

対象：滝根地区の小中学生 (小学校6年生/中学校全学年)

●探究活動 (交流ワークショップ) 福島県立船引高等学校

日時：令和5年11月24日(金) 13:15~15:05

対象：1学年生徒 (60名)

●3年生社会科 出前授業 船引南中学校

日時：令和6年2月9日(金) 10:30~12:30

対象：3学年生徒 (25名)



(6) 「都路移住者手作りレトロ結婚式」に参加

「移住定住」「伝統継承」「婚活」の3つの目的から、田村市企画調整課が企画・運営し、都路まちづくり移住促進協議会ははじめ地域住民と協力して実施した地域振興のイベントに参加。都路小学校の2名の生徒が「三献の儀」の役割を務めるなど、地域の子どもたちも地域の伝統に肌で触れる機会となった。

●都路移住者手作りレトロ結婚式

日時：令和6年2月17日(土)

会場：よりあい処 華



03 隊員の活動状況

④起業型：語学、飲食事業
宮之原 尚子

(1) ニカラグアを活用した国際交流の機会創出

多様な文化や価値観、言語に触れることで、海外や語学に興味を持つ田村市民の増加及び、田村市を海外の人に知ってもらうことを目的に実施。

●ニカラグア女子野球選手の都路小中学校訪問

令和5年5月1日(月)

都路小学校：5,6年生との交流会

(小学生からスペイン語での自己紹介、質疑応答、ゲーム)

スポーツ少年団との合同練習

都路中学校：野球部との合同練習

よりあい処華：ランチ交流会、近隣の観光地案内

協力者：JICA青森国際推進員 阿部氏（ニカラグア女子野球創始者、日本誘致企画実行者）、

よりあい処華 今泉ご夫妻、都路小中学校、JICAボランティアOB/OG等

取材：福島民報、福島民友



(2) 語学イベント

様々な切り口から海外の言語や文化に触れる機会の創出及び、市内の海外人材の活躍の場を作ることや多文化共生に理解のある人口増、語学事業立ち上げのためのニーズや見込み客獲得を目的に実施。

●交流会

令和5年5月28日(日)テラス石森、令和6年1月30日(火)よりあい処華にて実施。

スペイン語やニカラグアの紹介を通して、海外の文化に触れたり、語学に興味を持ってもらいイベントを実施。継続的にスペイン語を習いたいというご要望をいただき希望者に対しスペイン語講座のテスト運用を開始。

●料理教室

令和6年2月19日(月) 滝根町にて実施

市内在住韓国人の方にご協力いただき、韓国語＋韓国料理教室を開催。スペイン語やニカラグアとは違う切り口で、これまで繋がりのなかった層の方々のご参加をいただき、継続的に実施してほしいとの要望もいただいた満足度の高い会となった。



(3) 事業立ち上げに向けたお試し出店

地域の人たちとの繋がり作りや認知拡大及び、飲食事業のテストマーケティングのため、市内のお祭りや都路町のよりあい処華にて出店。

●よりあい処華にてコーヒー提供

令和5年6月のよりあい処華9周年記念イベントからコーヒーの提供を不定期で開始。
10月以降は毎週水曜日に定期出店開始。

●イベント出展「愛郷祭」、「都路灯まつり」、「みやこじ商工祭」

よりあい処華さんにお誘いいただき、華ブース内にてコーヒー等飲み物を販売
令和5年7月16日(土)愛郷祭、8月5日(土)都路灯まつり、10月15日(日)みやこじ商工祭にて出店。

●イベント出展「親子deマルシェ」、「イシモリフェス」

Switchが企画したイベントに出店し、地域の事業者様や来場者とのコミュニケーション・繋がり作りを実施。



(4) 事業立ち上げに向けた学びや情報収集、繋がり構築、田村市の認知拡大

今後の事業に必要な資格や知識の習得及び、田村市民との繋がり構築及びニーズ調査、交流人口の増加による地域の活性化、多様な働き方やサービス、地方創生の事例、世の中のニーズや動向を学ぶためにオンラインサロンやマーケティング講座等へ参加。

- 「もりのび」の運営サポート
- 映画「夢みる校長先生」上映会実施
- 田村市国際交流協会の日本語教室ボランティア、日本語ボランティア養成講座参加及びサポート、市民ガイド養成講座参加
- 川原卓巳ハイブリッドサロンSMALL WORLD参加及び企画実施
- 移住体験ツアーやオンラインイベントでのゲスト参加
- 食品衛生責任者講習、防火管理者講習、マーケティング講座、JICA×ボーダレスジャパン企業セミナー参加 等



本年度成果

語学・飲食事業

● 語学・国際交流関連イベント実施回数／ 4回

ニカラグア女子野球選手来日時、田村市誘致及び小中学校での交流イベント、スペイン語・ニカラグア関連の語学イベント、韓国語・韓国料理教室

● 事業立上げに向けたお試し出店／イベント出店5回、週1出店（令和5年10月～よりあい処華にて）

イベントでの出店による繋がり構築やニカラグアのコーヒー及び、田村市産の農作物を使ったデザート等のテストマーケティング

● 事業立ち上げに向けた学び、繋がり構築、田村市の認知拡大

食品衛生責任者講習修了、防火管理者講習修了、ニカラグア女子野球選手誘致企画支援者数25人、コミュニティ参加者約300人

考察・今後の展開

● 飲食事業立上げのための物件と協力者探しと収支計画の策定

テストマーケティングにより、飲食店の持続可能なビジネスモデルの構築は簡単ではないことを実感したこと、場づくりのための初期投資額も大きいことから、物件や改修費用の試算、収支計画を作成すると共に、一緒に運営したい人や協力してくれる人材を開拓する。また、出店の際は田村市産農作物を利用した商品開発にも試み、地域の様々なプレイヤーが関わり、三方よしとなる飲食サービスの立上げを目指す

● 語学事業の多様なサービス展開の検討と試験的实施

リアル開催の語学イベントは、楽しんでいただけるものの、場所や日時等で集客に苦労することもあるため、オンラインでの実施も可能となるよう、リサーチやニーズ調査、試験的な取り組みを実施する。また、地域柄、海外との繋がりや国際交流、様々な文化や食、言語に触れる機会、地域内での職業選択の幅が狭いことから、海外や外国語は他人事と思っている大人も多いと感じるため、教育や子育てを行う大人への価値教育の必要も強く感じたため、様々な切り口から世界のことや語学に興味を持ってもらえるようなやり方を試験的に実施していく。

03 隊員の活動状況

④起業型：キャンプ場開業事業
橋本 剛

（１）事業立ち上げに向けた拠点探し

ファミリー層をターゲットとした家族で楽しめるキャンプ場を目指し、交流人口創出に向け候補地を検討。

●キャンプ場開業に向けた、土地探しを実施▶市内約170地点を視察

- ・10000㎡前後の土地
- ・携帯の電波が入る土地
- ・高速インターチェンジから20分以内
- ・スーパーから20分以内等

●キャンプ場視察の実施

ターゲットに合った空間づくり、施設づくり、設備の設置、イベントの立案を学ぶ

- ・ACNあぶくまキャンプランド
- ・Sakura bushcraft field視察
- ・オートキャンプいわしろ高原
- ・アニマルフォレストうつしの森
- ・那須たんぼぼ村キャンプ広場
- ・フォレストパークあだたら
- ・那須ITAMUROキャンプ場
- ・羽鳥湖畔オートキャンプ場
- ・negura campground
- ・CAMP BEAN
- ・るぼぼの森オートキャンプ場

公図



杭



土地の探し方

- ①Googlemap、Googleearthで土地を探す
- ②現地視察
- ③土地の公図を取得
- ④公図を持って再度現地調査
杭を探しながら登記簿を取得する範囲を確認
- ⑤登記簿取得

（２）事業関連の資格取得

●キャンプ場運営に必要な知識、スキルを学べる資格、山林開拓に必要な資格を取得

- ・日本キャンプ協会 キャンプインストラクター資格取得(2泊3日)
- ・ジャパンプッシュクラフトスクール プッシュクラフトアドバイザー資格取得(1泊2日)
- ・チェーンソー特別教育取得(16h)

（３）起業×移住交流会へのゲスト参加

移住や起業を目的としたイベントのゲストを担う。

●起業×移住ゆるトーク交流会

日時：令和5年9月8日

場所：東京／田村市・東京リクルートセンター(WeWork 渋谷スクランブルスクエア内)

起業を目指す脱サラキャンパーが地方移住のリアルを語る、トーク交流会のゲスト参加。

●タムラナイトin浜松町

日時：令和6年1月13日

場所：東京／FAINDAY浜松町

「自然」と「起業」という掛け合わせてゲストをお迎え、田村市の食材を楽しみながら、ゲスト・参加者の皆さんと、「都市から地方への移動」や「地方での活躍」といったテーマについて、田村市を起点に考え、交流するイベント。



（４）コミュニティ創出事業へのサポートと出店

開業に向けた運営サポート業務と出店を実施。

●イシモリフェスサポートスタッフ

日時：令和5年11月11日

前日：会場設営、駐車場整備ライン引き

当日：駐車場誘導、場内巡回

事故等も無く無事にイベントを開催する事が出来た。

●イシモリフェス出店

日時：令和5年11月12日

内容：スモア作り体験

焚火でマシュマロを炙り、ビスケットとチョコレートで挟むスイーツ作り体験。

焚火初体験のご家族がいらっしやり、焚火の心の安定の効果、温もりを伝えながら、一緒にスモアを作りキャンプの楽しさを説明。



（５）起業セミナー、創業スクールの受講

起業に向けての運営やトレンド、マーケティングを学び、開業に向けた準備を行う。

- 日本オートキャンプ協会 キャンプ場経営セミナー** 受講日：令和5年6月27日
内容：キャンプ場経営に必要な法令、運営方法などキャンプ場コンサルの講師が解説
詳細：協会が一昨年調査したデータを元に人気キャンプ場を作る為の場所、設備等のノウハウを学ぶ
- 地域おこし協力隊・復興支援員研修** 受講日：令和5年8月2日
内容：卒隊後の起業をテーマに3名の地域おこし協力隊OBの起業実例を紹介、ワークショップ開催
詳細：OBが協力隊員期間中に起業に向けて活動した内容を知る事により、今後の活動の道筋を学ぶ
- 福島県産業振興センター 創業スクール** 受講日：令和5年9月2日～24日
内容：マーケティング・財務会計・労務管理・ICTスキル・ブランディング・プレゼンテーションスキル・起業家実例紹介
詳細：起業に必要なノウハウを一から学ぶ
- 福島商工会議所 福島創業スクール** 受講日：令和5年9月30日～10月28日
内容：創業ビジョン作成・ビジネスプラン作成・マーケティング・IT活用・POP活用・会計基礎・店舗デザイン・プレゼン発表
詳細：上記よりさらに深掘した起業のノウハウを学び、最終回はビジネスモデルのプレゼンを実施
- MAKOTO WILL 田村プチ創業塾** 受講日：令和5年10月30日
内容：商品の値決め方法、融資、補助金等お金全般の勉強会
詳細：値決め前のリサーチの重要性、補助金等を学ぶ
- JOIN起業セミナー** 受講日：令和5年11月21日
内容：起業までのステップ・地域おこし協力隊OB起業事例・任期後の地域ビジネス立ち上げについて
詳細：OBが協力隊員期間中に起業に向けて活動した内容を知り、自分の活動に当てはめ考える
- MAKOTO WILL シゴト、ツクル、ゼミ** 受講日：令和5年11月28日
内容：起業に向けて一歩踏み出すWS形式 創業ゼミ
詳細：考えるだけでなく、行動の大切さを学ぶ
- 県中企画商工部インバウンド講演会** 受講日：令和6年1月19日
内容：福島空港タイガーエア台湾就航状況・台湾と日本の関係・東北地方におけるインバウンド需要の現状
詳細：人口が減っていく中で、インバウンドマーケティング戦略の必要性を学ぶ
- 県中企画商工部地域づくり交流会** 受講日：令和6年1月19日
内容：福島県地域創生総合支援事業の概要・前年度受託された3つの事業の成果発表・協力隊員交流会
詳細：採択事例を知る事でアウトドアと絡めた地域創生事業を考える

本年度成果

キャンプ場開業の準備

●土地探し

約170地点を視察

●キャンプ場視察

11個所のキャンプ場を視察し、取り入れる設備等の選定が出来た

●創業スクール、セミナーの出席

起業に必要な知識、ノウハウを学ぶ

考察・今後の展開

●土地を確定しキャンプ場建設に着手する

令和6年5月頃には土地を決め、土地開拓、場内設備に着手する。令和7年7月プレオープンを目指にする。

●キャンプを軸にした防災コンテンツ作り

防災×アウトドアのコンテンツで防災を楽しく学べる場を作る事により、地域の防災意識を高める。

03 隊員の活動状況

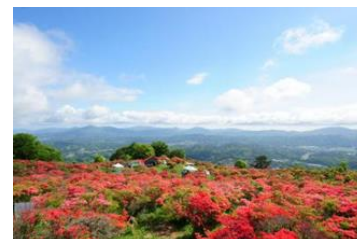
④起業型：サウナ・温浴事業
本田 進之介

（1）開業候補地の視察

市内外から老若男女問わず人が訪れる場所を創出し、3年以内に1日の客数120人とすることを目標とする。
まずは候補地の検討に着手した。

●サウナ・温浴施設開業に向けた、土地探しを実施

傾斜：少しの整備で建物が建築できるくらいの傾斜
植生：荒れた田畑跡よりは緑あふれる森林
形状：昼に太陽が当たるなど
アクセス：IC・駅から車で15分以内



●検討先と結果

芦沢周辺の視察と評価

視察前に航空地図・ストリートビューを使って商業に向いている場所が確認(電柱が立っている・車がすれ違える幅のある道に接している)

5段階中4評価の土地を2箇所発見

船引三春ICからのアクセスも良く、民家からある程度離れている点も良い

●14か所の視察先と結果

猪苗代：MINATOYA SAUNA

山形：高原ゆ

東京：SPA:BLIC・タイムズパレスタ・ミナミ六本木・光明泉・PARADISE・コリドーの湯

堀田湯・金の亀・えごた湯・サウナラボ神田・文化浴泉・モンスターサウナ

自分が建てたいものに近い地方のアウトドア型サウナへ行き、サービスを体験・オーナーに話を伺うことで今後の計画の参考にした。

加えて、流行である・人を集めているサウナへも出向き、市場の変遷・利用客のニーズ・店側の創意工夫・ウケている要因を考え、センスを磨いた。



本年度成果

サウナ・温浴施設開業の準備

●土地探し

船引町を中心に調査・視察を実施

考察・今後の展開

●開業地の取得とサウナ事業

令和6年6月までに、サウナ開業のために20～100ヶ所の候補地を選定し、所有者と交渉して土地を取得する。同時に、ログハウスのセルフビルドを行う建築士の検討を行い、サウナ室の理想的な構造を実現するために行政との関係を築けるパートナーを検討する。

●地域との関りの強化

地域の住民や自治体と積極的にコミュニケーションを取り、地域の課題や関心事を把握しつつ、地元の業者や職人、コミュニティ団体など地域のリソースを積極的に活用し、地域経済の活性化に貢献する。

●開業に向けた土地の整備

土地の整備に際しては、環境への配慮や法規制の遵守、安全性の確保などに注意しつつ、計画的で持続可能なアプローチを行う。具体的には、土地の整備では、まず整地作業を行い、地面を平らに整地。必要に応じて木々の伐採を行い、建設予定地のスペースを確保。給水・排水設備の整備や、電気設備等を行い、これらの作業は、建設計画や地域の規制に適合し、環境への影響を最小限に抑えながら行う。